

海外安全対策情報

【定期報告：1月～3月】

在ケープタウン出張駐在官事務所

1. 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 年始、観光シーズンが重なったことで、観光地における強盗、軽犯罪が増加し、観光客が被害に遭った。
- (2) 在ケープタウン出張駐在官事務所管轄地域の2014年1月～3月における邦人に対する被害は1件であった。

2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

(2) 強盗

邦人被害

ア 邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

イ 邦人被害者情報なし

(3) 強姦

ア 邦人被害者情報なし。

(4) その他

ア 2月2日、午後10時頃ケープタウン市ロングストリートにおいて黒人男性が誘拐、暴行にあった。誘拐車はケープタウン市の公用車バンであり、「この付近は窃盗事件等多いから乗れ」と言われ乗車したところ4時間車の中で軟禁され暴行を加えられた。最終的に被害者男性は金を払って解放された。

イ 2月10日、午後5時30分頃ケープタウン市の電車内にて当事務所現地職員が強盗事件に遭った。混雑した車内で背後から刃物を突きつけられ、所持していた現金500ランドと食品を奪われた。犯人は下車時の混雑に紛れ逃走した。

ウ 2月26日、午後8時頃ケープタウン市レシフェ（近くに観光地用のビーチ、施設有り）においてギャングによる銃撃事件が起きた。同事件により関係のない13歳の子供が巻き添えになり殺害された。

エ 2月27日、ケープタウン市市内中心部のグリーンマーケットスクエアにおいて1、000人規模の政治違法集会があった。多くの警察が動員され、結果12名の逮捕者が出た。死傷者は出なかったとの報道だが、鎮圧のためにスタングレネードが数発用いられた。

オ 3月22日、夜中から23日明け方にかけて、邦人旅行者が車上荒らしの被害にあった。土産と書類を盗られたが、犯人は捕まっていない。宿泊施設には駐車場がなかったため、被害者はレンタカーを路上へ駐車していた。レンタカーは後日新しいものに交換してもらえた。

3. テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 誘拐

ア ケープタウン市オブザーバトリーにおいて、20代アメリカ人男女2名がカーハイジャック、誘拐の被害にあった。2名は軽傷を負ったものの深夜に解放された。車両と荷物は強奪され、犯人は逃走した。

5. 対日感情

概ね良好。

6. 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7. 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「駐在官事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。